

吉林省檔案館
編
廣西師範大學出版社

日本關東憲兵隊報告集（第四輯）11

廣西師範大學出版社

· 桂林 ·

目 录

1	北支那派遣宪兵队检阅月报(昭和二十年三月二十二日)	〇〇一
附:	残件 1	〇五〇
	残件 2	一六一
	残件 3	一六八
2	北支那派遣宪兵队检阅月报(无年代三月)	一七九
3	北支那派遣宪兵队检阅月报(无年代四月)	二四一
附:	残件 1	二九六
	残件 2	三六二
	残件 3	三八四
	残件 4	四二五

北支憲警第六八號

昭和二十年三月二十二日
北支那派遣隊兵務司令部

檢閱月報 二月

發送先

甲 集司（馬第一、三、三課）乙、仁、戊各集司、
甲一、二〇、衣二三五〇、韓司、歸、中韓司、南支蘇
馬蘇下各隊（分遣隊迄）

目次

一 普通郵便

二 電報

三 軍事郵便

四 映画演藝

一、普通郵便

〔 〕 本期間檢閲セル普通郵便ノ總數ハ八九四一九三件ナルカ内有害ト認メ押收セルモノ一七六八件削除セルモノ一八三二件參考トシテ錄取セルモノ三〇二三件郵便法規違反等ニシテ郵便局長ニ處置ヲ一任セルモノ六五二件等合計セニ七五件ヲ夫々處分セリ

軍事服務者ノ普通郵便利用通信ハ逐月減少ノ傾向ニアルモ本期間有害ト認メ返送又ハ削除發送セルモノ九〇件アリタリ

敵地區通信ノ概況

前月同様ニシテ特殊ナル通信發見セラレサルモ依然反日的通信及一般民生活ノ困難通信最多數ヲ占メ敵地區一般知識層及青年層ハ世界情勢ノ推移ヨリ反樞軸軍ノ絕對優勢、總反攻近シト信スルモノ多數アリ山東省政府ハ改組セルモノノ如ク之等ノ事項ヲ通信スルモノ多數發見セラレタリ秘密インキ使用通信ハ逐月

2 占據地區中國人ノ通信ノ概況

治安不良、物價狂騰ニ因ル生活困窮ヲ報スルモノ絶對多數
 ノ敵機來襲ニ因ル民心不安ト之カ被害狀況ヲ報スルモノ之
 ク其ノ他對日感惡化、對新政府誹謗等亦多數發見セラレ一
 心ハ惡化シアルヲ看取セラル

3 日本人ノ通信

全般ニ戰意低調ナリ在留邦人ノ大部分ハ治安狀況ノ惡化米
 ノ出撃及物價狂騰ニ因ル現地生活不安ヲ訴ヘ加之内地向送
 限ニ因リ益々不安動搖シ内地向送金ニ減々トスルモノアリ
 軍反戰等思想上要注意通信散見セラレタリ

處置セル通信内容及主要事例左ノ如ク

①反日通信一、〇八〇件全處置致ノ一、五八％

被我兩地區共ニ反福軸軍ノ優勢ニ適應シ戰意昂揚、對日強

策スルモノ最多数ヲ占メアリ
 占據地區住民ハ日本軍嫌忌或ハ中國ノ勝利ヲ信シ抗戰參加強調
 等ノ通信ヲナシアリ
 主要事項左表ノ如シ

月日	送信者	受信者	内容	處置
三 一 二	安徽宣穎州 倪老榮	青島特別市 興隆社	我國ハ八年ニ亘ル抗戰勇猛ノ精神ハ世人ノ耳目ヲ驚カセ世界四強國ノ一タル偉名ヲ獲得シマシタ近來米國ハ多量ノ機銃砲銳ナル武器ヲ我國ニ送ツテ來マシタ此ノ種新式武器ノ操縦ヲ知識人材ヲナケルハナランノテ中央ニ於テ知識青年十萬名從軍運動ヲ開始シ重慶、昆明或ハ印度ニ於テ專門訓練ヲ實施シ待遇ハ特	押

一 二 六	張驥延慶縣 楊家胡同	北京地安門外 北官坊口	未曾有ノ大動亂一之ハ一ツノ滅 亡ノ警告タ迷ヘル同胞ヨ一迷ニ 覺醒セヨ其シテ時代ノ使命ヲ判 断ト認識シ復興ノ大道ニ向ヒ進 出スルニ當リテ帝國主義ヲ打倒 シ暗黒ナル世界ヨリ光明ナル世	同
			テモ釋給テ依然支給學生ハ籍ヲ 除去セス滿期後復職復校サセテ 英レマス留守家族ニモ特別補助 金ヲ設ケテ居マス見王十ニ三 ヲ獲得シマシタ山身實ハ張驥 地ナル關係ア余リ志願者カアリ マセン私モ師範校ヲ卒業シテ之 ニ志願シ舊年 ツ西安ニ行キ同地カラ空路重慶 ニ行キマス	收
				右

三 一 七	一 二 二
山東省 日照茶園	陝西省龍圖縣 周家村 馬然
青島北京路三 七號 王程九	河南省臨縣 韓丘 家信
諸君カ日寇ノ統治下ニ在ツテ奴 隸的生活ヲ爲シテ居ルカ同盟國 ノ大規模ナル反攻ハ將ニ展開サ レントシテ后ル日寇ガ失敗取ハ 損失スル毎ニ中國人民ハ勝利ヲ 得ルノタ中國人民團結ヲ諸君 等カ聯合シテ鬼子ヲ蹂躪セヨ國 民義軍隊ハ續々敗退シハ	トウシテモ兵隊ニナツテ中國ヲ ヲシメル日本軍ヲ追出セナケレ バオマセン敵ヲ中國ヨリ追出 シタラ中國ハ富且強クナル事疑 アリマセン私ハ死ンテモ本望テ アリマス家ニ在シテ死マヨリ其 ノ方カ増テス今日カテ前線ニ行 キマス
右	收 押

	龍德鎮河南李 李紹禮
外六四件	河南省高縣 元十五師寺三 李紹禮
ノ支任チ、成シテキル南島口氏 主市政府辦事處ハ人氏ノ若痛ヲ 解除スル處ナアル一ツ ハハ經營、生、宣記、 損失、求學、求、成等全、部辦事處ニ 相談スレハ方、在ラ、 テ吳レル諸君等カ、成、ニ運、 抗戰ニ參加スルコトヲ歡迎スル 育島辦事處	尙現在當地テ、 シテオル現在、 テハナイ令、 征シ敵ヲ、 四シ、 維持シタ後ニ於テ、 キテア、
同	石

「守法奉公」シ郷里ノ事ハ心配
スルナ

現在德寇ノ滅亡ハ眼前ニ迫ツテ
居ルノデス「ペルリン」ヨリ百
二十餘里ニ迫ツテ居ル事ハ「ス
ターリン」ノ舊賓ノ平テモアリ
マシタ滅亡ハ今年ノ冬期カ明春
ニハ間違ヒアリマセン其ノ時未
英ハナニモナリ大軍ヲ東方「シ
ペリヤ」ニ土留サセ一古中國ニ
於テハ八路軍ト新四軍反七千百
萬ノ民兵遊撃隊ヤ全國百姓ハ四
面ヨリ日寇ヲ打撃スル日寇ノ滅
亡ハ目前ニアルノデス貴族ハ何
處ニ出陣ヲ求メラレマツカ抗戰
勝利ハ期間カアリ生列ノ民ハ皆
ツテ居ル希ハクハ我民族ノ萬歳

押

収

西河城新民會

張

汾陽縣保安隊

二中隊

黃隊長

レテ來ルヲ希ム決シテ害ハ

奸漢ノ悲慘ナル最殺鬼ハ活同
王劉均及十二歳三國ハ長王聲太
ヲ統殺シ營長王潛華亦殺害サ
レタ三國宮々劇卒 臣ハ危シト
見テ部下ヲ率ヒテ反正シ抗軍ニ
投歸セリ又偽軍海警備軍ノ二國
々長劉均モ亦敵ノタメニ銃殺セ
ランタノ皮ハ鬼子ニ對シテ志
トハ云ヒ疑々ニ鬼子ノタメニ
殺害セラレタリ偽軍ノ兄弟達ヲ
汝達ノ生ハ鬼子ノ手中ニ録ラ
レテ等 何時日本刀カ汝達ノ頭
上ニサレルカ知レマ注意セヨ

石

同

山東省日照縣

鳳山頭

劉崇旭

青島東鎮東光

路三統

郝銘益

外一三件

山東省黃縣
張家邱

杯

青

滿洲國佳木斯
中興太街

張真

「在關ニ鬼子ノ中央ノ政治ハ腐敗ニ變化シテ居リ將來共產黨ハ成功ヲタロウ八月十四日ノ午後一轉、豫奪カアリマシダ丁度露天市場ヲ開カレテ居タ時テ大々的ニ掠奪行ヒ物資ヲ大車ニ滿載シ金ハニ充滿シ補ヘ車ヲ微毀シツ傷付ケラレタ者モ數名アリシタ此ノ凄慘ナル情況ハ見ル忍ビマセンテシタ一度鬼子カ出勤シタト聞ケハ身モ心モナク恐怖ヲ感シマスコレ等ノ兵ハ十餘名テ中ニ鬼子カ五百餘名居リマシタコレ等ハ土匪ツリモ惡イ鬼テス

吾等ハ九年間ニ惡黨ニ車ヲト

收

押

三二八	江蘇省泰縣 東美鎮鎮
陝西省西安 宗禮路	揚伯江 揚錦雨

折單ミテ示タシノ原案ハ内閣司
如何ニシテ突破スル
軍一ノ餌食ニハナラナイ否ク信
スル目下三角地區ニ居 同志等
ハ堅固ナル本意ヲ發揮シ工作ニ
邁進シテ居ル奮闘努力スルハ必
ス勝利ノ道ヲ開ケル其ノ日モ遠
クハアルマイ

同

2 思想上有害通信一二六八件全處僅數ノ三、六%一

出征遺族ハ戦争苛烈化ニ伴ヒ厭戦、反軍又ハ戦局前途不安
ノ事項ヲ通信スルモノ漸次増加シアリ又一部指導者ノ時局ニ
スル無關心ヲ憤慨シ生 毒益路ヲ競ハシム通信ヲナスモノアリ
全被ニ戦意低調ナルヲ看取セラル
中國人ハ新政府側ノ政治誹謗乃至不逞ヲ競ハシム通信ヲナシ
主要通信事例左表ノ如シ

月日	発信者	受信者	内容	感
二二八	東京ニテ 渡邊 一幸	青島市泰山 橋本 幸一	電波探知器ハ設置シテ居 ルイカテアノ大キイB29モ一キ テハ臧多ニ捕獲出来ナイ夜間戦 闘機モ近頃影モ見ヘナイ又飛ン テモ見ハ憚イノタロウ何シロ凡 ユル條件カ解ツテ居ルカラB29 ノ野郎毎日キツテ来テ焼夷彈ヲ 投下スル之カ確實ニ毎日繰返サ レル敵ノ狙ツテ居ル船艦戦ハ確 ニ成功タ夜中ニ叩キ起サレテ見 ロ翌ニハグツタリシテ仕事ナン カ出来ハシナイモウ俺ハツク 東京カ嫌ニナツタ	戦争ハ一日ト大變ニナツテ 参リマシタ内地モ毎日空襲サレ ル其ノ度ニ心配テジツトシテ居 六
青島市		神戸市	制	
			押	

三六	四方湖島子八 三宅 一枝	須磨區平出町 榮原 シケ	テトマセン今迄万葉ラハナクモ モウ此ノ世ノ人テ無クナツタリ 不具ノ身トナツタリスル事カ益 々烈シクナルテセウ 戦争ナンテ本當ニ恐シイ事テス	除
三七	栃木縣佐野市 金屋下町 大出 繁子	青島市市場三 路二十一號 大出 勝一郎	内地テハ毎日毎晩空襲ヤルテ居 リマス此ノ頃テハ何處ヘ行ツテ モ30ノ新テ熱切ツテ居リマス 私ハ此ノ頃僅ンタカ忍シクテロ 本カ敗ケルノテハナイカト不安 ニナツテ來マシタ	石
三二	北京市前門外 羊肉胡同九十 七號 高 宅	下村 最高指揮官	一、公務員ニ取テ増徴セヌ王克敏 委員長ニ反對セヨ 二、公務員ヲ斃死セシメル王克敏 ヲ打倒セヨ 三、河片 忠王官ヲ入ルセヨ	牧 押 同